

小学校教員免許状の取得方法について

小学校教員免許状は次のような方法で取得することが可能となっています。

1 小学校教諭一種取得プログラム

本学では、2006年度から、神戸親和大学通信教育部教育学科初等教育学コースとの提携により、在学中に小学校教諭一種免許状を取得するためのプログラムを実施しています。本プログラムの概要は次ページのとおりです。

2 教員資格認定試験

文部科学省では、広く一般社会から学校教育へ招致するにふさわしい人材を求めるため、職業生活や自己研修などにより教員として必要な資質、能力を身に付けた方が教員免許状を取得する方策として小学校教員資格認定試験（以下、「認定試験」という。）を実施しており、その試験実施事務を独立行政法人教職員支援機構（以下、「教職員支援機構」という。）が行っています。

認定試験は、受験者の学力等が大学又は短期大学などにおいて小学校教諭の二種免許状を取得した者と同等の水準に達しているかどうかを判定するものです。認定試験に合格した者は、都道府県教育委員会に申請すると、小学校教諭の二種免許状が授与されます。

上記の説明は、「令和5年度小学校教員資格認定試験」を基に掲載していますので、令和6年度認定試験の実施の詳細については、独立行政法人教職員支援機構のホームページや文部科学省のホームページを随時参照してください。

3 その他

卒業後に小学校教員養成課程をもつ大学へ3年次編入する、または、小学校教員養成課程をもつ大学通信教育部に編入学する等の方法で、免許状を取得することができます。

小学校教諭一種免許状取得プログラムについて

関西大学では、兵庫県神戸市北区にある神戸親和大学通信教育部教育学科初等教育学コース（以下、神戸親和大学）との提携プログラムを実施しています。

これは、文学部初等教育学専修以外の学生が、本学在学中に、小学校教諭一種免許状を取得するのに必要な科目を神戸親和大学の科目等履修生として単位修得し、小学校教諭一種免許状が取得できるプログラムです。

本プログラムのメリットは、①一般の科目等履修生では履修できない小学校教育実習に係る科目の履修が可能となること、②小学校教諭一種免許状の取得に必要な59単位のうち、本学で修得する中学校・高等学校教諭一種免許状取得に係る教職科の単位が15単位充当できること、③神戸親和大学のキャンパスを活用し、スクーリングや科目修了試験等で種々の配慮がなされていること、④他大学が実施する同様のプログラムに比べて受講者の経費負担が3分の2程度（約47～50万円、テキスト代別）で設定されていること、⑤通信教育課程のため、計画的な履修計画がたてられること等があげられます。

ただし、本プログラムは、中学校または高等学校教員免許状取得を前提としたものであり、小学校教員免許状のみの取得はできません。

■神戸親和大学との提携による「小学校教諭一種免許状取得プログラム」概要

出願資格

- (1) 学部学生
- ア 新2年次生で小学校教諭を強く志望する者
 - イ 本学で課程認定を受けている教職課程を履修している者（中学校一種免許状の課程を履修していることが望ましい）
- (2) 大学院生
- 博士課程前期課程1年次生で、小学校教諭を強く志望し、すでに中学校または高等学校教諭一種免許状を取得した者

注意事項

学部1年次生においては、教職課程の1年次配当科目【A 文部科学省令に定める科目（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）】や、【B 教育の基礎的理解に関する科目等】の「教育原理」、「教職概説」等を履修しておいてください。

また、上記のとおり本プログラムの受講には、本学の学費以外に別途経費（約47～50万円、テキスト代別）が必要です。

※ 本プログラムの内容は、毎年見直しが行なわれますので、プログラム実施年度の要項において必ず概要の確認をしてください。